

## 令和4年度 鯨城会 運営方針

### コロナと共生して、地域貢献活動や行事を実行しよう！

鯨城会 会長 細野 博行

鯨城学園は令和4年度になって2年間の休校したのちに、4年4月に開校しました。この一年間は講義がつづけて行われ、無事に卒業生が出ることを願っています。

鯨城会も令和2年、3年度はコロナ禍に巻き込まれイベントの禁止もあって諸行事は全部中止となりました。施設も利用制限され会議も満足に開催できませんでした。

4年度になっても、いまだコロナ感染は高止まりですが、社会も平常の日々を取り戻しつつあります。鯨城会も、今年こそは行事やボランティア活動が再開できると思っています。16区フェスティバル、公開講演会また鶴舞クリーンキャンペーンなどの活動もコロナ感染予防の観点から見直しなどして実行したく計画しています。

しかし会の運営では学園が2年間休校により入会者もおらず、また退会者の増加などに会員数が減少しています。3千人を超えていた会員数ですが、今年度は2千2百人と少なくなり今後の活動が制約されます。

4月から新しい代議員会（区会長）ならびに幹事会が選出されました。しかし各区会においても会員の加入がなく、活動には運営に苦慮しているのが現実です。このような状況でも代議員ならびに幹事は一丸となって会の目的に掲げる親睦・地域貢献・学園への寄与にはコロナと共生しながら取り組みます。

#### 会の目的

- ① 会員相互の親睦をはかり、教養を高める
- ② 地域社会の貢献としてボランティア活動の実践
- ③ 学園の発展に寄与する

今年は地域貢献できるボランティア活動をしっかり行い、少なくなった会員数ですが、できるかぎり鯨城会の存在感を確保してゆきたいです。

行事・会議では健康・安全に重点をおいて行います。会員の皆様も日頃の生活に留意しながら、明るく楽しく元気よく活動に参加下さいますをお願いします。

